

無限大“∞”

～4月の自分を一度振り返ってみよう～

あっという間に12月が終わろうとしています。期待と不安が入り混じった表情をしていた4月がついこの間のように感じます。入学して9か月。心も体も大きくなった今日この頃。そろそろ1年を振り返る時期がやってきたと思っています。

4月入学当初に描いていた高校生活は送れていますか？高校で頑張ろうと思っていた「目標」は達成できそうですか？実際に過ごしていく中で、「やりたいこと」「できなくなったこと」は変化していきます。「目標」も変化していきます。変化がある度に、自分の現状を見つめ、やることリスト(優先順位)を更新していきましょう。

そして、**学習と生活は成長の両輪**です。落ち着いて生活することがすべての土台です。学校生活にも慣れ、基本的な生活習慣が崩れている様子が見られたり、自分のことを優先し、与えられた役割を誰かがやってくれているからと任せっきりにする様子が見られたり、仲が良くなったからといって言葉遣いが乱暴になっている様子がちらちらと見られます。大人も同じですが、意外に自分では気づかないものです。言われて気づくと「あ、気にしていこう」と素直に思って行動するかどうかが鍵です。そして、31回生のみなさんはそれができるとしています。

【12月6日～12日：第4回定期考査】

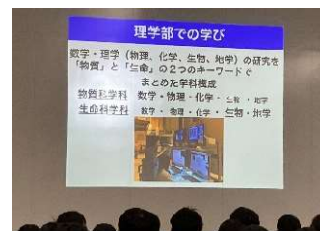
来年度のコース選択を提出した後ということもあってか、自分の進路を意識して学習を進めている生徒が見られました。例えば、見直しや振り返りに時間をかけ、内容をまとめたりしながら課題を取り組む姿や学習した後すぐに取り組み、考査前には何度も解き直す時間を作り出したり、休み時間に教え合う姿があちこちで見られたり、放課後に図書室に残って勉強したりするなどが挙げられます。結果はすぐに現れないことが多いですが、取り組んできたことはちゃんと自分のなかに積もっていますよ。

さて、10月の学年通信に『次に向けて振り返ると、「計画をしっかり立てる」「立てた計画をちゃんと実行する」という意見が多く、確かに大事なことであるが、計画通りにいかないときに、現状を分析して修正をかけることがさらに大事である』と書きました。わずか2週間ほどの冬休みですが、9月以降に学んだ学習内容を振り返り、現状を分析し、理解が弱い部分を集中的に復習する絶好の機会ですね。

【11月8日、20日：高大連携授業～学部紹介～】

10月から3回にわたって兵庫県立大学の6学部の紹介(研究内容を含む)を受けました。8日は理学部(吉久先生)と環境人間学部(山口先生)、20日は工学部(前田先生)と国際商経学部(大住先生)に紹介をしていただきました。やはり実際にお話を伺うと、HPやパンフレットを見るだけでは見えない部分が多く、とても深く学ぶことができたと感じました。

授業後、興味を持った学部のアンケートを実施し、12月、1月の高大連携授業で選択した学部に分かれ、先生のご専門について学ぶ授業がありました。附属高校ならではの授業をぜひ、自分の進路や将来に生かしてほしいと思います。



【11月15日：薬物乱用防止教室】

兵庫県警察本部生活安全部少年課の向山さんに薬物の恐ろしさについて教えていただきました。なかでも、「脱法ハーブが奪った未来」という動画では、薬物を使用するときの怖さを身近に感じることができました。



【11月26日：歯科保健教室】

兵庫歯科衛生士学院から5名の学生さんが来られ、歯科衛生や予防について講義してくださいました。また、自分の唾液から口腔内のpHを調べ、虫歯になりやすい状況かどうかを知ることもできました。



12月の行事予定(1年生関連)♪

- | | | |
|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| ・1/8(水) 全校集会、課題考査(数英国物生) | ・1/20(月) 寮生を送る会 | [その他] |
| ・1/9(木) 寮生集会 | ・1/22(水) 高大連携授業⑥⑦ | *2/14(金)～20(木) 高校入試のため登校禁止 |
| ・1/14(火) 課題提出②(国語) | ・1/23(木) 中学入試準備のため16:00完全下校 | *2/27(木)～3/6(木) 第5回定期考査(予定) |
| ・1/17(金) ベネッセ総合学カテスト(進研模試) | ・1/24(金) 生徒登校禁止日 | *2/27(木) 卒業式予定 |
| | ・1/26(日) 全統模試(希望者、外部受験) | *2/28(金) 卒業式 |

【12月18日:高大連携授業～研究に触れる～】

6 学部に分かれ、来校された先生のご専門について、お話を伺うことができました。高校生(しかも1年生)にもわかるように噛み砕いてご講義くださったとはいえ、とても専門的で難しい内容でしたが、自分で選択した学部でしたので、一生懸命話を聞いていました。授業後の感想文もびっしりと埋め尽くされていて、「研究」に触れ感じるがあったのだな、と嬉しく思いました。いくつか感想を紹介したいと思います。

《看護学部》～川村 麻由香先生～ テーマ「周産期にある母子の身体的変化と体験」

周産期にある母子の身体的変化についてのお話を聞きました。妊娠、出産の過程で、母体や胎児に様々な変化があると分かりました。特に妊娠末期の母体の変化には、腰痛、息切れ、息苦しさ、貧血など胎児の発育に伴って大変なことも増えていきます。また、妊娠、出産に対する悩みは1人ひとり個人差があるため、食生活・清潔・休息・睡眠など日常生活でのセルフケア能力を高める支援を行い、妊婦に寄り添うことも大切であると分かりました。そして、助産師は、親になるための準備への支援や心のケアについても妊婦とその家族と向き合い、一緒になって考えていると知りました。今回の授業でもっと母性看護を学びたいと思いました。(笹谷)



《国際商経学部》～浦山 剛史先生～ テーマ「文系に進む意味-その一領域の経済学と経営学について知ろう」

初めに文系と理系それぞれの意義や違いについて教えていただきました。経営学をされている先生ならではの考えもあり、特に理系では専門的な授業が多く、“スペシャリスト”として入学時点で職業が絞られていること、文系では“ゼネラリスト”として幅広い仕事に就くことが多い、ということに納得しました。また、授業では2回ほど話し合って発表する時間もあり、とても楽しく授業を受けることができました。特に、モチベーションについての課題は、最近地理で習った社会主義などの労働についての学びを生かして考えることができたので、成長できたと思います。今日の授業を受け、改めてこの学問は面白いと思ったので、次回も楽しみです。(森下)



《社会情報科学部》～土方 嘉徳先生～ テーマ「ソーシャルメディアにおける社会・心理分析」

社会学で出た統計やデータを、情報の知識を用いて分析するというので、とてもおもしろそうだなと思いました。今回は主にソーシャルメディアと人とのつながりのことなどについて学びましたが、ソーシャルメディアを通じて友達から友達を5～6人たどって手紙を送ると、全員知らない人へ渡るという「スモールワールド実験」があって、「世界は狭い」って本当のことかもしれないと思いました。僕らの使っているSNSからこんなことまで分析できるなんてすごいと思ったし、今までに習ったことやこれから数学で学ぶことも、応用として分析の方法に入っていたので、とても関心を持って、やってみたいなと思いました。(岡本)



《工学部》～鈴木 隆史先生～ テーマ「材料科学の最先端」

今回の授業によって、磁石と電気と電子などが密接につながっていると知り、興味がとても深まりました。磁性体(磁石の性質をもつ物体)には、永久磁石(一般的な磁石)と電磁石(そのもの自体が磁石ではないが電気を流すことにより磁石となるもの)に分けられることを知りました。また、紀元前のころから金属を引きつける石があるということは知られていたらしいのですが、17世紀まで研究はされていなかったことと、18、19世紀に古典磁気学が発展したことなど、磁石についての歴史についても知ることができました。今回の授業は専門性がとても高く、難しい内容のものも多く、他のことについては理解することができない部分もありました。大学生になったらこの授業がわかるようになるために、今から努力していきたいです。(西嶋)



《理学部》～餅井 真先生～ テーマ「動物の発生と再生」

今までは遺伝はあまり興味がなかったのですが、今回の話を伺って少し興味をもちました。また、イモリやプラナリアの再生の仕組みがとてもおもしろく、特にイモリの再生の仕方がおもしろく、一度分化した細胞が脱分化をして、再び分化し再生するというのに驚きました。また、プラナリアは多機能な幹細胞を持っており、体のほとんどの細胞に分化できるということに驚きました。休み時間に、部活で研究を進めている「カニムシ」のあごと腕の発生に関して気になっていることを話していた時に、その話を聞いてくださり、新しい視点での考えを教えてくださいました。もう少し仮説を練って、研究していきたいと思いました。(表)



《環境人間学部》～杉山 武志先生～ テーマ「ローカルに生きる意味を考えてみよう」

今日の講義で一番印象に残ったことは、「グローバルとローカル」の関係性です。2つともよく聞く言葉で、今まで別だと思っていました。しかし、先生がマクドナルドを例に、「見た目は似ているが味は異なる。つまり、『グローバルになるほどローカルになる』」と言われた時に、確かに今まで思っていなかったことに気づくことができました。「グローバルだけ」「ローカルだけ」では経済や企業活動はうまくできなくて、相互に理解し合うことで成り立つんだと考えることができ、新しい発見もあった良い時間になりました。(藤井)



【研修旅行について】

本校の研修旅行では、「海外研修」を実施しています。31回生も、異文化に触れる経験を考えております。どの国でどんな体験ができるのかは、もう少し先に…。現在、準備を進めておりますが、生徒や保護者のみなさまに説明する時期をおおまかではあります。3月終わり(春休み前)に生徒対象に研修旅行について学校から概略を説明後、旅行会社より「パスポート申請」についての説明を行います。保護者のみなさまには、5月の参観日後の学年懇談会時に概略を、7月(夏休み前)に詳細を説明させていただく予定にしております。また追加変更がございましたら、生徒を通じてご連絡させていただきます。